

令和2年度 山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生募集要項

1 趣旨

山梨県立大学では、令和2年度に大学院で開講する科目のうち特定の科目について、次により科目等履修生を募集します。科目等履修生は、授業科目を履修し、所定の試験等に合格した場合、本学の単位が修得できます。

本学の学生と共に意欲的に履修される方々の応募を期待します。

2 募集人員

各科目若干名

3 入学の時期

令和2年4月

4 出願資格

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「学位授与機構」という。）から学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該大学の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和2年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (8) 令和2年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学研究科が認めた者
- (9) 看護系の短期大学、専修学校、各種学校等を卒業・修了し、本学研究科において、個別の出願資格認定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び令和2年3月までに22歳に達する者

***書類を提出する前に、非常勤講師担当科目については研究科長、本学の教員が担当する科目については各担当教員に面談の予約を取り面接をすること。**
連絡先については、P4～7を参照してください。

5 履修対象科目

- (1) 「令和2年度山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生への開講予定科目一覧」のとおりです。
- (2) 履修できる単位は、10単位を限度とします。

6 入学料及び授業料

入学検定料及び入学料が改定された場合は、施行された時点から適用されます。

- (1) 入学検定料
9,800円
- (2) 入学料
28,200円（入学の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者）
47,000円（その他の者）
- (3) 授業料
1単位につき14,800円

7 出願書類等

- (1) 科目等履修生入学願書
- (2) 写真1枚（出願前3ヶ月以内に撮影した上半身正面縦4cm×3cmのものを願書に貼付してください。）
- (3) 履修希望科目
- (4) 履歴書（本学所定の用紙）
- (5) 山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生志望理由書（本学所定の用紙）
- (6) 出願資格を証明する書類
最終学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書又は看護師免許状などその資格に関する証明書の写し
- (7) 入学検定料 9,800円
最寄りの銀行等に備え付けの「振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、入学検定料9,800円を本人名義で振り込んでください（ATMは利用しないでください）。なお、振込手数料は本人負担でお願いします。
振込時に、受取った「振込金受領書」のコピーを出願書類と併せて提出してください。
なお、振込依頼書の記入は次のとおりです。

口座番号等	山梨中央銀行	県庁支店	普通	672195
口座名義	公立大学法人	山梨県立大学		

- (8) その他
 - ①書類を提出する前に、非常勤講師担当科目については研究科長、本学の教員が担当する科目については各担当教員に面談の予約を取り面接をすること。
連絡先については、P4～7を参照してください。
 - ②本学大学院修了生で、専門看護師（CNS）資格取得のために開講予定科目以外に履修を希望する場合は担当教員にご相談ください。

8 出願手続

- (1) 出願方法
出願書類を持参するか、書類を封筒（角形2号 ※33cm×24cm）に入れ、表に「大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

- (2) 出願先
〒400-0062
山梨県甲府市池田1丁目6番1号
公立大学法人山梨県立大学 池田事務室 大学院担当

- (3) 出願期間

令和2年1月27日(月)から2月7日(金)まで

郵送の場合は、令和2年2月7日(金)までに必ず到着するよう郵送期間を十分に考慮のうえ発送してください。

- (4) 受付期間

受付は期間内の土・日曜日及び祝日を除く平日の午前9時から午後5時まで

9 結果発表及び入学手続

- (1) 結果発表

令和2年2月21日(金)

- (2) 発表方法

郵送により出願者全員にお知らせします。電話での照会には一切応じません。

- (3) 入学手続

合格者で入学される方は、所定の日までに入学手続を完了してください。

なお、入学手続に必要な書類は別途お送りします。

10 その他

- (1) 時間割は、決定している場合、履修許可通知書の発送の際にお知らせします。
決定していない場合は、4月上旬のオリエンテーション時に、担当教員に確認をしてください。
- (2) 納入した検定料・入学料・授業料は返還しません。
- (3) 修得した単位については、本人の申請により単位修得証明書を交付します(翌年4月以降)。
- (4) 在学証明書・学割証・通学証明書は発行できません。
- (5) 出願書類等は、志願者本人が黒のインク又はボールペンで丁寧に記入してください。
(シャープペンシル・消せるボールペンは不可)
- (6) 募集要項に関して不明な点は、次に照会してください。
公立大学法人山梨県立大学 池田事務室 大学院担当
TEL : 055-253-7859 FAX : 055-253-7781

令和2年度山梨県立大学大学院看護学研究科科目等履修生への開講予定科目一覧

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
共通科目	看護政策学	岡谷恵子 (非常勤講師) 小川忍 (非常勤講師)	前期	我が国における看護政策と看護政策過程の理解を深め、医療・看護の変革期における諸課題を探究し、高度専門職業人としての人材を育成するとともに、地方における医療・看護の現状と政策決定過程を教授する。 【連絡先】佐藤 E-mail : etukos@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-8617
	臨床薬理学	米田昭子 前澤美代子 鈴木勉 (非常勤講師)	前期	複雑で治療が困難な状況にある患者に対する応急処置や症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、薬剤の適正使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と技術を習得する。 *科目履修条件：専門看護師を目指す方または、同等の臨床経験（5年以上）をお持ちの方。 【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445
	フィジカルアセスメント	前澤美代子 山内豊明 (非常勤講師)	後期	複雑な健康問題をもった対象の身体状況について系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術について教授する。 【連絡先】前澤 E-mail : miyomae@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9148
	地域環境保健論	小田切陽一	前期	疾病予防と健康増進の重要性について科学的根拠に基づいた理解を行うための「疫学の基礎」を学修し、次に地域で生活する個人や集団の健康課題が日常生活（ライフスタイル）の良否と関連していることを疫学研究の事例を通して学修する。とくに「食・食生活と健康」、「食生活とがん」をテーマに扱うほか、受講生の関心のある健康課題についてもテーマとする。最後にリスクの概念、アセスメント、リスク管理およびリスクコミュニケーションについて学修する。本科目は、量的研究法や統計学の初歩的理解にも役立つ。 【連絡先】小田切 E-mail : odagiri@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-8692
	病態生理学	米田昭子 他非常勤講師	後期	エビデンスに基づき、対象の病態生理学的变化を解釈し、臨床看護判断、及びケアとケアの融合による高度な看護実践を行うための基盤となる知識と技術を習得する。 *科目履修条件：専門看護師を目指す方または、同等の臨床経験（5年以上）をお持ちの方。 【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
共通科目	看護管理論	山田光子 陣田泰子	前期	看護マネジメントに関する基礎知識を学習する。組織における看護職の役割について看護管理の視点から考え、主体的に関与する力を培う。看護管理課程、組織論などを通して、看護管理上の諸問題を「管理、組織、システムの問題」ととらえなおし、自組織の課題について探究する。 【連絡先】山田 E-mail : yamadam @yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-8509
	感染看護学特論Ⅲ a (感染症看護) < 専門看護師コース >	平尾百合子 高取充祥	前期	感染看護の基本理念を理解し、感染看護専門職者としての役割を認識できるよう感染看護学の概念、今日の感染症の発症要因と様相、感染症患者および易感染患者の看護、感染管理における看護の役割について教授します。 【連絡先】平尾 E-mail : y_hirao@yamanashi-ken. ac. jp
専門科目	感染看護学特論Ⅳ a (感染防止法) < 専門看護師コース >	平尾百合子 高取充祥	後期	感染管理システムを発展させていく視点を養うことを目的とし、市中・院内感染の防止に関する看護活動、施設内感染管理システムと教育、医療従事者の健康管理について教授します。 【連絡先】平尾 E-mail : y_hirao@yamanashi-ken. ac. jp
	感染看護学特論Ⅲ (感染症看護) < 研究コース >	平尾百合子	前期	感染看護の基本理念を理解し、感染看護専門職者としての役割を認識できるよう感染看護学の概念、今日の感染症の発症要因と様相、感染症患者および易感染患者の看護、感染管理における看護の役割について教授します。 【連絡先】平尾 E-mail : y_hirao@yamanashi-ken. ac. jp
	感染看護学特論Ⅳ (感染防止法) < 研究コース >	平尾百合子	後期	感染管理システムを発展させていく視点を養うことを目的とし、市中・院内感染の防止に関する看護活動、施設内感染管理システムと教育、医療従事者の健康管理について教授します。 【連絡先】平尾 E-mail : y_hirao@yamanashi-ken. ac. jp
	慢性期看護学特論Ⅰ a (慢性病者の理解) < 専門看護師コース >	米田昭子	前期	慢性病を持つ人が抱える複雑で解決困難な療養上の課題とそれに対する患者・家族の反応および療養行動の特性について理解し、援助するための概念・理論について学習する。 * 科目履修条件 : 特になし 【連絡先】米田 E-mail : yonedaok@yamanashi-ken. ac. jp 研究室 : 055-253-9445

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
専 門 科 目	急性期看護学特論 I a (急性期精神看護論) < 専門看護師コース >	遠藤みどり 渡辺かづみ	後期	重篤な外傷や急病及び手術療法などの侵襲的治療により生命危機状態にある患者とその家族が陥りやすい危機状況に対して、危機理論や危機モデル等を活用しつつ、危機的状況からの回復を促進するための看護介入について様々な事例に基づいて探究する。 【連絡先】 遠藤 E-Mail : midorie@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-8745
	急性期看護学特論 I (急性期精神看護論) < 研究コース >	遠藤みどり 渡辺かづみ	後期	重篤な外傷や急病及び手術療法などの侵襲的治療により生命危機状態にある患者とその家族が陥りやすい危機状況に対して、危機理論や危機モデル等を活用しつつ、危機的状況からの回復を促進するための看護介入について様々な事例に基づいて探究する。 【連絡先】 遠藤 E-mail : midorie@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-8745
	急性期看護学特論IV (急性期緩和ケア論) < 研究コース >	遠藤みどり 渡辺かづみ	後期	救命救急、ICU、HCUなどで救命治療や集中治療を受けるクリティカルな状況にある患者とその家族が体験する苦痛とその影響要因について全人的かつ包括的にアセスメント・評価し、効果的に苦痛を緩和するための看護を学ぶ。またクリティカルな患者の病態に合わせた鎮痛・緩和のための治療処置に関する理論、原理、方法、効果判定とともに、クリティカルな状況にある患者とその家族の安楽性やQOLを高めるために、多職種との協働による包括的介入のアプローチの方法を検討する。 【連絡先】 遠藤 E-mail : midorie@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-8745
	基礎看護学特論 I (看護総論) < 研究コース >	稲垣順子 西村明子 城戸滋里 (非常勤講師)	前期	看護学の歴史の変遷、看護の構成要素となる概念や理論の構造を理解し、ヒューマンケアとしての看護の本質について考究できるように教授する。また、看護の対象となる人や現象の捉え方とパラダイムについて教授し、自己理解・他者理解を深める。さらに看護現象における諸課題を明らかにし、ケアとキュアについて考究できるように教授する。 【連絡先】 稲垣 E-mail : inagaki@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-9378
	基礎看護学特論IV (援助技術論) < 研究コース >	稲垣順子 西村明子 城戸滋里 (非常勤講師)	後期	Art&Scienceとしての看護の技とは何か、臨床推論から看護実践をするプロセスと卓越した看護実践をはぐくむ方略、環境調整・活動と運動、睡眠と休息、栄養と食事、排泄、清潔など援助技術の科学的根拠と評価、課題が考究できるよう学修する。 【連絡先】 稲垣 E-mail : inagaki@yamanashi-ken.ac.jp 研究室 : 055-253-9378

区分	科目名	予定教員名	開講予定時期	科目の概要
専 門 科 目	老年看護学特論Ⅰ (高齢者アセスメント・ケアマネジメント論) <研究コース>	渡邊裕子 小山尚美	前期	老年看護実践を支えるエイジングならびに高齢者の健康の概念に関する諸理論について学修する。また、高齢者とその家族の健康上のニーズを包括的にアセスメントするための諸理論ならびにケアマネジメントに関する諸理論について学修する。 【連絡先】渡邊 E-mail: yuwatanabe @yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9904
	老年看護学特論Ⅱ (高齢者サポートシステム論) <研究コース>	渡邊裕子 小山尚美	前期	高齢者のサクセスフルエイジング(幸福な老い)に関する諸理論をふまえ、サクセスフルエイジング(幸福な老い)を可能にするために必要なソーシャル・サポート(フォーマル・インフォーマル)の諸理論、及びそのネットワークの必要性について考究できるように学修する。また、わが国の高齢者保健福祉政策の歴史的変遷を理解するとともに、高齢者の権利擁護およびサポートシステムの課題について考究できるように学修する。 【連絡先】渡邊 E-mail: yuwatanabe @yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9904
	老年看護学特論Ⅲ (認知症ケア論) <研究コース>	渡邊裕子 小山尚美	後期	認知症の早期発見・早期対応を可能にするために、認知症の病態・診断・治療方法等について学修する。また、認知症を抱えながら生きる高齢者のアセスメントならびにケアマネジメントに必要な知識・技術について学修する。さらに、認知症を抱えながら生きる高齢者が、最期までその人らしく暮らし続けることを可能にするための支援のあり方について考究できるように学修する。 【連絡先】渡邊 E-mail: yuwatanabe @yamanashi-ken.ac.jp 研究室: 055-253-9904

* 各科目 2 単位

* 専門看護師コースは 38 単位教育課程を令和 2 年 4 月から開講できるよう準備中です。

* 書類を提出する前に、非常勤講師担当科目については研究科長、本学の教員が担当する科目については各担当教員に面談の予約を取り面接をすること。

令和 年 月 日

公立大学法人山梨県立大学長 清水 一彦 殿

氏名 _____

科目等履修生入学願書

私は、貴学に科目等履修生として入学を志願します。

ふりがな				<p>写真貼付欄</p> <ul style="list-style-type: none">・ 出願3ヶ月以内に撮影・ 裏面に氏名・生年月日を記載・ 上半身、無帽、正面向き・ 縦4cm×横3cm・ 白黒、カラーいずれも可
氏名				
生年月日	昭和 平成	年 月 日生		
本籍地	都道府県	性別	男女	
旧氏名	年 月 日改姓			
現住所	〒 _____			
	TEL ()	携帯 ()		

現在の職業・職名又は 在学学校名	名称	
	所在地	〒 _____ TEL ()

氏名 _____

履 修 希 望 科 目

履修希望科目	単位数	開講予定時期	担当教員名	※担当教員印

※欄は記入しないでください。

履 歴 書

ふりがな 氏 名	男・女	現住所	
生年月日(年齢)	昭和 平成 年 月 日生 (歳)	本籍地	都 道 府 県
学 歴			
年 月	事 項		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
職 歴			
年 月	事 項		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
社会における活動等			
年 月	事 項		
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
資 格 ・ 免 許			
年 月	事 項		
年 月			
年 月			
年 月			
上記のとおり相違ありません			
令和 年 月 日	氏 名		印

※学歴欄は中学校卒業から入学・卒業を記入すること。

2. 履修希望科目の選択理由（*複数科目を選択する場合は、同様に連記してください。）

- 履修希望科目名 「」
- 選択理由

- 履修希望科目名 「」
- 選択理由

- 履修希望科目名 「」
- 選択理由

- 履修希望科目名 「」
- 選択理由

- 履修希望科目名 「」
- 選択理由
